

先祖からの貴重な土地をご提供いただいた市民の熱い魂に報いるためにも、ぜひ1日でも早い完成を期待している。

【答】市としても引き続き東京都と協力して早期完成に向けて取り組んでいく。

命の大切さを教えるがん教育 市も早期開始を



公明党 さの 久美子

1. 安全・安心のまちづくりについて

(1) 市道幹7号線の安全対策について 国3・2・8号線の一部交通開放により交通量増加が予想される。ガードレール設置等の横断防止対策、南側の街灯早期設置、信号機設置、恋ヶ窪ガード付近の自転車安全対策を求める。市) ガードレールは交通量調査の上、必要箇所に設置したい。街灯は今年度中に設置。信号機は交通管理者に要望、ガード付近は看板設置で対応する。

(2) 人とペットの災害対策について 災害時、ペット同行避難を想定し、更なる避難訓練の周知をすべき。狂犬病予防接種の際に啓発用のパネルを展示し「飼い主への啓発」に力をいれるべき。市) ペットを飼っている市民に対し訓練の周知方法を考えたい。パネル展示は実現させたい。

(3) 総合防災訓練について 小学生からポスター募集するなど広報に工夫を。市) 検討する。

2. 切れ目ない子育て支援について 産後うつ対策事業構築のためにも、妊娠期から面接、支援プラン作成等を行う「ゆりかご・とうきょう事業」を来年度から実施すべき。市) 必要な事業と考える。前向きに検討していきたい。

3. がん教育について 6年前からの提案。「がんのこわさ、命の大切さ」を教えるがん教育。国分寺市はいつ取り組むのか。教育長) アクティブライフ研究実践校でモデルケースを作りたい。3学期にがん教育の単元開発、授業を1回高学年で行い、教員研修の場にもしたい。

4. 嘱託職員の処遇改善について 今や嘱託職員の数は職員の半分を上回っている。モチベーション向上のため、賞与のような手当は考えられないか。市) 考えてはいるが、地方自治法上の規定から解決すべき問題があり、庁内議論中。

5. 認知症対策について 今年初めて11月が認知症月間となり、認知症サポーター養成講座に職員が多数参加し、よい取り組みであった。来年度は当事者の話を聞く、視覚から訴える企画を提案する。市長) 職員は市民と接する部分が多いので、熟知して対応できる体制を作りたい。市) 提案内容は参考にさせていただきたい。

今そこにある危機！ 犯罪予告への対応を!!



国分寺政策市民フォーラム だて 淳一郎

市に対する犯罪予告対応について

だて) 多発している公共施設や学校への爆破等の犯罪予告について、市の対応指針はあるか？市) 防災や不審者への対応はできているが、犯罪予告に対しては定まったものはない。

だて) 施設管理の外部委託なども増えている中、適切な対応を行い、市民や子どもたちの安全を守るためにも一定のマニュアル作成を行うべき。市) 学校をはじめ、各施設でのマニュアル作成

等の対策を行ってまいりたい。

稲荷坂通りの舗装工事について

だて) 昨年も質問をした稲荷坂通りの振動問題。舗装工事を行うとのことだが詳細を伺う。

市) 平成29年度の早期に高木町交差点から市営住宅に入る交差点まで、残りの部分は平成30年度に工事を行えるよう進めている。舗装の全面打替えを行うので、振動は相当改善される。

だて) 終バス後の深夜の工事となるが、家の真横で大変な騒音が発生する。近隣住民への丁寧な説明と早めの日程連絡を要請する。

市) 周辺の皆さんにはご迷惑をおかけすることは認識している。工事の進捗に合わせて、詳細な工事日程をお知らせするなど、でき得る限り丁寧な対応を図ってまいりたいと考えている。

悪質な税金の滞納には毅然と対応を!

だて) 滞納市税等の徴収率が向上してきているが税負担の公平性を守るという観点からも、更なる検討、新たな取組みを求める。

市) 昨年、だて議員から提案を頂いた市外へ転居した滞納者への調査委託をスタートさせた。徴収率の高い他市の取組みも参考に目標達成に向け、引き続き工夫、研究を進めてまいりたい。

市報アプリの導入を!

だて) 全国の自治体で市報配信のスマホアプリ導入が進んでいる。費用、更新の手間もかからず、市報や関心あるテーマの情報が自動的にピックアップされる機能もある。市報を手にとることの少ない若者向けに導入をすべきと考える。

市) 利点が多く、非常に有効なツールであると認識している。導入に向け検討を進めたい。

言葉は争うためではなく 理解し合うためにある



国分寺政策市民フォーラム 及川 妙子

1. 振り込め詐欺について=ゼロになったと聞いたが実態は?→今年度8~10月までゼロで減っている。◎一時期全国一の被害だったが改善したのでPRしてほしい。

2. 事故について=(1)JRのホーム事故=10月に西国分寺駅で視覚障がい者が線路に転落した。中央線は全国で2番目にホーム事故が多い。沿線の市区町会などをつくり、ホームドアの設置を強く要望すべきだ→市長会で東京都に要望している。(2)立川の自動車事故=高齢者の事故については運転免許の返納だけでなく、必要な方に対しては一定配慮すべきだと思う。

3. 待機児童について=(1)来年度の見込みは?→今年度の102名より上回ると予測している。(2)今後の対策は?→定員数の見直し、保育園3園の建設で来年4月の定員を2,634名にする。(3)0、1、2才の小規模保育所をつくったらいかがか?多摩26市でつくっていないのは8市だけである。→小規模保育所でなく、定員33名などの小さな認可保育所を整備する方向で考え直している。

4. 障がい者施設等について=(1)条例制定にむけての具体的な計画は?→他の自治体の状況を確認して研究しているところ。(2)差別解消法では行政は合理的配慮が義務になっている。職員対応要領の進行状況は?→原案を策定中であり年度内の策定をめどに準備中。(3)障がい者への広報について=以前やっていた手帳交付時に一緒に障がい者団体のパンフレットを渡すことをまたやっていただきたいと要望があるがいかがか?→手帳交付時に「障害者のしおり」を渡し

ている。団体のパンフレットについては配架基準を整備して自由にとれるようになっている。

5. 国分寺まつりについて=3年前から出店を拒否されている3団体について、それまで出店を認めていたものを変更するのであれば最低限度、そのことについて説明すべきだ。今の状態は不正常だ。市は実行委員会が説明責任を果たすように働きかけをすべきだと思う。話し合っ

て一歩でも解決に向けて進んでほしい。

市主催の特定健診項目に 骨粗鬆症検査導入を



公明党 高橋 りょう子

(1) 健康推進施策

問①若い女性から高齢者に多い骨折。既存の健診に骨粗鬆症検査導入で早期発見・予防対策を。

市) 幅広い年代層へのアプローチが可能なため有効と考える。医師会との調整含め研究したい。

問②早期発見の第一歩は健康診断。若者や未受診者の申込みには電子申請が大変有効、導入を。

市) 若者等に有効と認識。実施に向け準備する。

問③予防接種は原則市内医療機関だが里帰り等では県外の場合も。費用負担の無い様対応を。

市) 事前の相談で先方の医療機関と連携し償還払い(他市でも無料)に向け今年度中に整備する。

(2) 教育環境の整備

問①学校トイレは日常的に児童生徒が使用するが災害時には避難場所となり高齢者や障がい者も利用。誰もが利用しやすい洋式トイレ設置を。

市) 現在7校設置済、残る3校も洋式整備する。

問②食糧供給地域が災害遭遇時も子ども達の食事は最優先。引き続き安定した学校給食提供を。

市) 野菜高騰の影響時にも工夫して確保する。

(3) 環境施策 問①消費しきれない食品を必要な方に活用頂くフードバンク。具現化を。

市) 環境まつりで第1回の回収を実施する。

(4) 市の広報活動 問①古代米国分寺種赤米が発見され今年一定量収穫と。給食に導入を。

市) 三学期に1食全校児童に提供予定。

問②全国4か所でしか取れない希少米。学校の観察授業で陸稲・赤米の栽培をしては如何か。

市) 来年度赤米を栽培する学校が3校予定されており、水稲白米との比較学習へ期待が高まる。

(5) 道路の安全対策

問①2年前から求めて来た稲荷坂・高木バス通りの振動対策。沿道住民待望の打替え工事決定を高く評価。住民・学校等へも丁寧に周知し無事故の完成を願う。市) 安全第一で対応する。

問②博多陥没事故報道に本市の安全対策を問う。次ページに続く▶

映像配信について



平成28年11月28日から12月2日に行われた第4回定例会における一般質問と12月22日の議案審議の様子が市議会のホームページでご覧になれます。また、平成29年2月17日(金)に行う市長の施政方針、19日(日)に行う各会派代表者による市長の施政方針への代表質問のライブ中継・録画配信も行います。ぜひご利用ください。



本会議の動画配信
QRコード